

普及活動情勢報告（令和4年7月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

育苗管理に気を付けて！

・・・JA高知県中村支所いちご部会総会・・・



6月22日、四万十市のJA高知県幡多地区本部で、中村支所いちご部会の総会が開催され、生産者7名と関係機関職員9名が参加しました。

会では、令和4園芸年度の活動や収支決算、令和5園芸年度の事業計画案について協議されました。農業改良普及課からは、育苗期における炭そ病対策のポイントと、農薬ローテーション散布、IoPクラウド「SAWACHI」の概要と加入についての情報提供を行いました。

農業改良普及課は、健苗育成に向けて、個別現地巡回を中心に指導を行っていきます。

三原村のユズ振興に向けて！

・・・村民主体の収穫体制づくりの検討・・・



6月24日、三原村農業構造改善センターで、役場・三原村農業公社・集落活動センターやまびこ・ユズ部会の役員、振興センターの職員が集まり、村民主体のユズの収穫体制づくりの検討会を開催しました。

この会は、三原村のユズの収穫量が増え、収穫作業の労働力が不足する問題を解決するため、農業改良普及課が関係機関に呼びかけたものです。参加者からは、「収穫体制として必要だ」、「農業公社のユズ園で試すと良い」の意見があり、体制づくりを進めることに同意を得ることができました。

今後は、今年度の実施を目指し、関係機関と収穫体制の運営等について検討していきます。

令和4年度の普及活動の方針は！

・・・第1回地区農業改良普及推進協議会・・・



6月30日、中村合同庁舎で第1回農業改良普及推進協議会を開催し、農家代表や関係機関等15名の参加がありました。

農業改良普及課から、今年度の普及指導計画や基盤整備等について説明後、人・農地プランについて意見交換を行いました。

委員からは、「就農相談のきっかけは？」、「水稻の地域標準反収の減収要因は？」等活発な意見がありました。

農業改良普及課は、委員から出た意見を今後の普及活動に反映し、地域や農業の課題解決に取り組みます。

一般社団法人設立に向けて！

・・・土佐清水市営農推進協議会・・・



6月28日に土佐清水市役所で、高知県農業会議を講師に迎え、一般社団法人設立に向けた勉強会を開催し、広域連携組織である土佐清水市営農推進協議会（構成：3集落営農法人と1任意組織）から5名の参加がありました。

農業会議から、一般社団法人の概要と独立の手順についての説明を受け、農業改良普及課は一般社団法人の機関構成の説明や設立手続き、スケジュール等の提案を行いました。

組織からは「機関構成がちゃんと分かった」、「自分たちで書類作成できそう」等の声がありました。

今後、11月の組織設立に向けて支援していきます。

地域で集落営農について考える！

・・・四万十市岩田地区 座談会・・・



7月3日、4日に四万十市岩田の集会所で、集落営農についての座談会を開催し、2日間で21名の参加がありました。

市役所から集落営農の取組説明の後、農業改良普及課が、昨年度実施した集落アンケートの結果を報告しました。

地区住民からは、「組織設立までの手順はどうか」、「機械導入のための補助事業はあるのか」等の質問がありました。

今後も関係機関と連携し、組織設立に向けた話し合いを進めていきます。

令和4園芸年度の後作オクラ栽培について反省

・・・後作オクラ反省会・・・



6月28日、JA大方支所改善センターで後作オクラの反省会が行われ、生産者9名と関係機関4名の参加がありました。

JAからは、令和4園芸年度の販売概況・販売実績の報告、および次作栽培に向けての情報提供が行われました。

農業改良普及課では、IoPクラウドSAWACHIの紹介と加入への啓発を行いました。参加者から「自分は登録している」、「どんなものか、詳しく知りたい」等の意見がありました。

農業改良普及課は、JAと連携してSAWACHIの登録者増加に向け、取り組んでいきます。

みんなの育苗状況はどう？

・・・JA宿毛支所苺部会 現地検討会・・・



7月11日、JA宿毛支所イチゴ部会の現地検討会が行われ、生産者16名と関係機関5名が参加しました。

会では、7名の生産者のほ場を巡回し、育苗期の肥培管理やランナーの受け方、農薬の散布頻度など意見交換が行われました。

農業改良普及課は、令和4園芸年度の生育調査の結果報告と花芽分化早進化について提案しました。生産者からは「他のほ場の生育状況も気になる」、「収穫期が早くなるのはいい」などの声がありました。

今後は、育苗管理の指導と併せて、次作に向けた調査・試験ほ場の準備を進めていきます。

目指せ農薬事故ゼロ・収量アップ！

・・・JA西土佐支所 シシトウ現地検討会・・・



7月8日から15日にかけて、四万十市西土佐の9地区で、シシトウの現地検討会が開催され、28名の生産者が参加しました。

会では、JA販売担当者から出荷規格の再確認とパック詰め時の注意事項の説明、営農指導員から今年の生育状況と今後の栽培管理についての説明が行われました。農業改良普及課からは、病害虫の適正防除、非辛み果性品種「高育交15号・16号」の品種特性についての説明と、農薬事故防止を目的としたGAP点検シートの記入支援を行いました。

今後は、営農指導員と協力して現地巡回を行い、農薬事故防止、収量アップ、非辛み果性品種の推進に取り組んでいきます。

そろそろやるかいGAP！

・・・よさこいミディ研究会反省会・・・



7月14日、JA中村支所集出荷場でよさこいミディ研究会の反省会が開催され、生産者8名及び関係機関6名が参加しました。

JA販売担当者からは今年度の販売実績報告、農業改良普及課からはGAPの取組とSAWACHIの活用について説明を行いました。

SAWACHIについては積極的な反応ではありませんでしたが、GAPについては次年度作から取り組んでいくこととなりました。

農業改良普及課は、今後研究会用のGAP点検シートを作成し、よさこいミディ研究会のGAPの取組を支援していきます。